

平成26年度幸町二丁目地区区民対話会 議事要旨

- 1 日時 平成27年2月14日(土) 13:30~15:10
- 2 場所 幸老人センター
- 3 参加者 区民 29名、区職員 5名
(参加区民の所属団体)
第28地区町内自治会連絡協議会、千葉幸町団地自治会、
千葉幸町東住宅自治管理組合会、幸町15街区自治会、新港工業団地自治会、
ライオンズマンション千葉みなと自治会、社会福祉協議会幸町2丁目地区部会、
第602地区民生委員・児童委員協議会、幸町第一中学校区青少年育成委員会、
幸町第一小学校地区スポーツ振興会、幸町2丁目コミュニティづくり懇談会、
幸寿会、美浜区赤十字奉仕団第35分団、幸町第一小学校PTA、
幸町第二小学校PTA、幸町第一中学校PTA、
幸町第一小学校・第二小学校跡施設地元利用促進の会

- 4 テーマ 地域の将来像と担い手

5 議事内容

- (1) 開会及び参加者自己紹介

- (2) 区長講話

配布資料により、地域コミュニティ及び幸町二丁目地区の現状について説明。

- (3) 意見交換

主な意見は以下のとおり。

■地域団体の活動場所・拠点について

- ・地域では様々な団体が多面的に活動している。活動ができるのは、拠点となる場所があってこそ。地域にとって、幸老人センターや幸町第一小学校(以下「一小」)・幸町第二小学校(以下「二小」)の体育施設がいかに大切かを認識してほしい。
- ・持続可能な地域コミュニティの構築は、言うのは簡単だが実現はとても大変だ。それに対して市はどう支援するのか。たとえば、一小と二小の跡施設をスポーツ団体が利用するにも、地域が強く要望をしないと市は使わせてくれない。一方では地域コミュニティが大事だと言いつつ、その後押しをしてくれない。市の対応は矛盾している。

- ・民生委員・児童委員協議会としても、拠点づくりが最も大きな問題である。資料等の保管場所がないため、現在は会長の自宅に保管している。
- ・幸老人センターは地域の大切な核。今後どうなるか、地域は不安に思っている。まず公助があり、その上に自助と共助が成り立つ。区として関係部署に働きかけ、地域を支えるための必要な調整をしてほしい。
- ・老人クラブの活動場所である幸老人センターは、東西に長い幸町二丁目の中心に位置するため、高齢者でも行きやすい。ぜひこの場所を引き続き利用させてほしい。また、利用者には階段を上るのが困難な高齢者も多いため、エレベーター設置などのバリアフリー化を望む。
- ・一小と二小の跡施設は地域住民のスポーツの場として利用されている。今後の活用検討にあたっては、廃止ありきではなく、地域にどう活用させるかという視点で臨んでほしい。
- ・幸町第四小学校（以下、「四小」）の整備は、将来の統廃合を見越したものだ。その際、市と地域との間で、跡地は地域コミュニティのために使うという約束が交わされた。その土地で、平成 27 年 4 月に一小と二小が統合され、過去の約束が果たされない状況にある。市は、過去の約束を踏まえ、代替地を用意し地域コミュニティに利用させてほしい。

■まちづくり、住環境について

- ・街は 60 年で疲弊すると言われており、この地区でも新しいまちづくりを進めていくべきだ。子育て世帯を呼び込み新たな担い手を確保するには、まず街の環境自体を変える必要がある。できるだけ早く、地域の住宅の大部分を所有する UR、市、住民が連携し、腰を据えて地域の将来像を描くことが求められる。
- ・若者に魅力ある子育てに適したまちづくりができれば、若者が入ってきて地域は活性化する。地域に大規模な集合住宅を持つ UR と市はまちづくりに関する連携協定を結んでいることもあるので、市は魅力あるまちづくりに尽力してほしい。
- ・UR は賃貸住宅に子育て世帯を呼び込もうとしているが、エレベーターがないため 4 階や 5 階は敬遠されてしまう。UR が住みよい環境を整備できるよう、市からも UR に働きかけてほしい。
- ・UR とは、団地再生に関する検討会を定期的にかけていたが、最近が開催されていない。市から UR に開催するよう催促してほしい。
- ・幸町二丁目には大規模な公園がなく、子供たちがのびのび遊べる場所がない。地域の今後を考えるのであれば、子供を大切にすべき。子供が成長できる街を目指し、若い世代を呼び込むまちづくりをお願いしたい。
- ・地区内にサービス付き高齢者向け住宅ができ、自立して生活できる高齢者が入居しているが、周辺には散歩し憩える場所がない。団地内の遊歩道は、ベンチや木陰が不足しており、冬は寒風が吹き抜け夏は暑さを避ける場所がない。昔は、四小の土地に中央公園があり高齢者が憩うことができた。

■市の施策について

- ・一小と二小が平成 27 年 4 月に統合されるが、当面、子どもルームは現在の各小学校のものを使うと聞いている。通う小学校と子どもルームが離れることで、子供たちの危険は増す。新しい小学校から近い位置にある旧第二保育所を子どもルームに改修し活用できないか。
- ・新港は居住エリアではないが、企業で自治会を結成し、2 か月に 1 回の道路清掃や親睦活動を行っており、企業として地域に何かしら協力できればと考えている。海が近いため防犯灯が長持ちしないなどの課題もある。新港の課題にも目を向けてほしい。
- ・市として、遺言の書き方についての講座や講習を開くか、既存の講座等を広報してほしい。見守りをしていた一人暮らしの方が亡くなった際、親族がいなかったため、財産の処分をマンション管理組合が費用負担し弁護士に依頼することとなった。
- ・一小、二小の統合により、両校の避難所も閉鎖されるのではと不安だったが、両校の校舎を避難所にする聞き安心している。東西に長い地域なので、1 か所に統合されると避難所まで遠くなる方もいる。今後も両校を避難所としてほしい。
- ・高齢者が増えている中、高齢者緊急通報システムを無料で利用できる施策は大変ありがたく、民生委員として一人暮らしの高齢者に利用を勧めている。
- ・老人クラブへの補助金が今後も減っていくのではないかと不安に感じている。
- ・区役所ができたときから、この地区内に住民票や各種証明書を受け取れる出張所を、週 1 回でいいから開設してほしいと要望しているが、いまだに開設されない。
→ (区長) 市は、平成 29 年 1 月から、住民票等をコンビニで受け取れるよう準備を進めている。

■対話会について

- ・市長との懇談会では「学校に冷房をつけてほしい」「子供の居場所を作ってほしい」という要望が出たが、いまだに実現されない。それどころか、地域の拠点がなくなろうとすらしている。この対話会での意見に対する市の前向きな対応を望む。
- ・PTA は、児童や生徒の保護者世代が地域活動を始め始める窓口となる場。地域の将来を考えるこのような会議には、PTA からより多くの方に参加してもらった方がいい。
- ・配布資料のように、数値や図表で説明してもらおうとわかりやすい。資料を事前にもらえれば、もっと良い質問ができる。

(4) 閉会